



Burns Night：授業アイデア (簡単版)

バーンズ・ナイトをテーマにした英語の授業アイデア 2本 Class _____ No. _____ Name _____

1. 好きな食べ物に詩をささげよう

中学・25分

🌀 形容詞を使って、身近な食べ物をたたえる短い英語の詩を書き、朗読する。

1. ハギスが入場して詩を読み上げられる場面（写真や動画）を見せ、「料理に詩をささげる」習慣を紹介する。
2. 好きな食べ物を1つ選び、Oh, ~! You are ~ and ~. の形で4行の詩を書く。
3. グループで、料理をかかげるまねをしながら大げさに朗読し、いちばん熱のこもった詩に拍手を送る。

2. 「オールド・ラング・サイン」と「蛍の光」をくらべよう

高校・30分

🌀 同じ曲が国によってちがう意味を持つことを英語で説明する。

1. 「蛍の光」を聞かせ、どこで聞いたことがあるかを出し合う。
2. スコットランドで大みそかとバーンズ・サパーの最後に歌われ、腕を交差させて手をつなぐことを英文で読む。
3. In Scotland, people sing it when ~. In Japan, we hear it when ~. の文でちがいをまとめる。
4. 「なぜ同じ曲が別れや新年の歌になるのか」をペアで話し合う。



1.好きな食べ物に詩をささげよう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／25分

Class _____ No. _____ Name _____

🎧 ねらい

バーズ・サバーでハギスに詩を読む習慣を知り、味・見た目・食感を表す形容詞を使って、好きな食べ物をたたえる4行の英語の詩を書き、気持ちをこめて朗読できる。

📋 準備

- ハギスが入場して詩を読み上げられる場面の写真か短い動画（先生が用意する）
- 基本セット p.1（読解：A Poem for a Pudding）の第1段落と英語ページの音声
- 形容詞カード（hot / cold / sweet / salty / soft / crunchy / round / yummy など）
- 4行の詩を書くワークシート（Oh, _____! / You are _____ and _____ の型と、自由に書く2行）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	ハギスの入場場面の写真か動画を見せ、何をしている場面か予想させる。英語ページの音声で本文の第1段落を聞かせ、バグパイプの音とともにハギスが運ばれ、みんなが立ち上がって拍手し、料理にむかって詩を読むことを確認する。	写真や動画を見て予想し、第1段落を聞いて場面をつかむ。	“Look at this picture. What is the man carrying?” “It is a Scottish food called haggis.” “Everyone stands up and claps.” “Then someone reads a poem to the food!”
展開1	6	形容詞カードを黒板にはり、味・見た目・食感に分けて意味を確認させる。先生の見本の詩（Oh, ramen! / You are hot and yummy. / Your noodles are long and soft. / I love you, ramen!）を、どんぶりをかかげるまねをしながら大げさに読む。	形容詞の意味を確認し、見本の詩を聞いてまねして読む。	“Is it sweet or salty? Is it soft or crunchy?” “Listen to my poem.” “Oh, ramen! You are hot and yummy.” “Now say it with me. Be dramatic!”
展開2	8	好きな食べ物を1つ選ばせ、ワークシートに4行の詩を書かせる。1行目は Oh, ～!、2行目は You are ～ and ～、3・4行目は形容詞を使って自由に書かせる。早く書けた生徒には、食べ物の絵を横にかかせる。	好きな食べ物を選び、形容詞を使って4行の詩を書く。	“Choose one food you love.” “Line one: Oh, and the name of the food.” “Line two: You are ... and ...” “Use two or more adjectives.”
展開3	5	4人グループで、料理をかかげるまねをしながら1人ずつ大げさに朗読させる。聞く人は朗読の前に立ち上がって拍手で迎える。全員が読んだら、いちばん熱のこもった詩を1つ選ばせる。	料理をかかげるまねをして詩を朗読し、いちばん熱のこもった詩を選ぶ。	“Stand up and clap for the poet.” “Hold up your food and read your poem.” “Which poem was the most exciting?”
まとめ	2	各グループで選ばれた詩に、クラス全体で拍手を送る。バーズは農場で働きながら詩を書いた人で、ハギスへの詩もその1つであることを伝えて終える。	選ばれた詩に拍手を送り、バーズについて知る。	“Let's give a big hand to our poets.” “Robert Burns worked on a farm, but he loved to write.” “Happy Burns Night!”

📄 板書例

🎧 Burns Night (January 25)

bagpipes → haggis → everyone claps → a poem to the food!

味: sweet / salty / hot / cold / yummy

見た目: round / big / colorful

食感: soft / crunchy

Oh, _____!

You are _____ and _____.

例: Oh, ramen! / You are hot and yummy. / Your noodles are long and soft. / I love you, ramen!

✅ 評価のポイント

- 選んだ食べ物に合った形容詞を2つ以上使って、詩を書けたか。
- Oh, ～! / You are ～ and ～ の型を正しく使えたか。
- 聞き手に向かって、気持ちをこめて朗読できたか。

👉 つまずきへの手だて

- 形容詞が思い浮かばない生徒には、カードを3枚選ばせ、そのまま詩に入れさせる。
- 3・4行目が書けない生徒には、I love you, _____! / You make me happy. の2文から選ばせる。
- 人前で読むのが苦手な生徒は、グループの仲間と声をそろえて読むか、料理をかかげる役をする。

🌟 発展

- 基本セット p.3 の穴埋め（Grandpa's Big Night）でバーズ・サバーの流れを確かめる。
- Discussion の問い Would you like to try haggis? Why or why not? にペアで答える。
- 基本セット p.6 の迷路（Help the piper bring the haggis to the table!）で、ひみつの語 HAGGIS を見つける。

🎧 使う教材

- 基本セット p.1（読解：A Poem for a Pudding）と英語ページの音声
- 基本セット p.3（穴埋め）
- 基本セット p.6（迷路）



2. 「オールド・ラング・サイン」と「蛍の光」をくらべよう

授業手順書（詳細版）／対象：高校／30分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

「オールド・ラング・サイン」がスコットランドで歌われる場面と、日本で「蛍の光」を聞く場面を英文と記事から読み取り、In Scotland, people sing it when ～. In Japan, we hear it when ～. の形でちがいを説明し、同じ曲が別の意味を持つ理由を英語で話し合える。

準備

- 「蛍の光」の音源（先生が用意する）
- 英文プリント（記事の内容より：Auld Lang Syne means "long ago" or "old times" in Scots. / People in Scotland sing it at midnight on New Year's Eve and at the end of a Burns supper. / They hold hands in a circle. In the last verse, they cross their arms in front of their chests and hold hands again.）
- 基本セット p.1（読解）の第4段落と英語ページの音声
- アクティビティ集 B3（ロールプレイ：Callum と Yuki の会話）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	「蛍の光」を流し、どこで聞いたことがあるかを出し合わせる（卒業式・紅白歌合戦の最後・お店の閉店の音楽など）。この曲の原曲はスコットランドの歌で、詩人バーンズが1788年に歌詞を書き留めて歌の本の編集者に送ったことを紹介する。	曲を聞き、日本でどんな場面で聞くかを出し合う。	"Listen. Do you know this tune?" "Where do you hear it in Japan?" "This tune comes from Scotland." "Robert Burns wrote down the words in 1788."
展開1	8	英文プリントと本文の第4段落を読ませ、スコットランドで歌う場面（大みそかの真夜中・バーンズ・サバーの最後）と歌い方（輪になって手をつなぎ、最後の節で腕を胸の前で交差させて手をにぎり直す）に線を引かせる。ペアで実際に腕を交差させて手をつなぎ動きをやってみる。	英文を読んで歌う場面と歌い方を見つけ、ペアで動きをたためす。	"Read the handout. When do people in Scotland sing it?" "Underline the times and the actions." "Cross your arms and hold hands. Like this." "What does Auld Lang Syne mean?"
展開2	7	In Scotland, people sing it when ～. In Japan, we hear it when ～. の形で、ちがいをまとめる文を2組書かせる。1組は歌う場面、もう1組は歌い方や雰囲気について書かせる。何人かに読ませ、板書する。	型を使って、スコットランドと日本のちがいを2組の文で書く。	"Write two pairs of sentences." "In Scotland, people sing it when the new year begins." "In Japan, we hear it when a store is closing." "Who can read one pair?"
展開3	7	Why do you think the same tune has different meanings? をペアで話し合わせる。Auld Lang Syne の意味（遠い昔・なつかしい日々）を手がかりに、新年と別れに共通するものを考えさせる。理由を英語で1～2文書かせる。	同じ曲が新年の歌と別れの歌になる理由を、ペアで話し合って英語で書く。	"Why does the same tune have different meanings?" "Think about the meaning: old times." "What do the new year and graduation have in common?" "Write one or two sentences."
まとめ	3	何組かに意見を発表させる。日本では1881年の『小学唱歌集』ののちから日本の歌になったことを伝え、同じ曲が国ごとに別の場面で歌われていることを確認して終える。	意見を発表し、同じ曲の歩みをふり返る。	"Please share your idea." "One tune, two countries, different meanings." "Next time you hear it, think of Scotland."

板書例

"Auld Lang Syne" (Scots: long ago / old times)

1788 Burns wrote down the words.

1881 Japan: 「蛍の光」 (『小学唱歌集』)

Scotland: midnight on New Year's Eve / the end of a Burns supper

hold hands in a circle → last verse: cross your arms

Japan: graduation / the end of Kohaku / a store is closing

In Scotland, people sing it when ____.

In Japan, we hear it when ____.

Why different meanings?

評価のポイント

- 英文から、スコットランドで歌う場面と歌い方を正しく読み取れたか。
- when を使って、スコットランドと日本のちがいを文で表せたか。
- 同じ曲が別の意味を持つ理由を、歌の意味などを根拠に英語で述べられたか。

つまづきへの手立て

- 英文を読むのに時間がかかる生徒には、midnight / New Year's Eve / Burns supper / cross / hold hands の語に先に印をつけたプリントを渡す。
- 文が書けない生徒には、when のあとに入れる語句の候補 (the new year begins / we graduate / a store is closing) を渡す。
- 理由が思い浮かばないペアには、「何かが終わり、何かが始まる」という共通点のヒントを出す。

発展

- アクティビティ集 B3 で Callum と Yuki の会話をペアで読み、役を交代して3回練習する。
- 韓国で1945年から1948年まで、このメロディーで国歌が歌われていたことを紹介し、ほかの国での使われ方を話し合う。
- Discussion の問い Burns wrote in Scots, not standard English. Why is it important to keep local languages and dialects alive? について意見を書く。

使う教材

- 基本セット p.1（読解：第4段落）と英語ページの音声
- アクティビティ集 B3（ロールプレイ）
- 記事「日本との意外な関係」の節